



2022年4月27日

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

報道関係各位

## ボストン・サイエンティフィック ジャパンの新代表取締役社長に 森川 智之が就任

～現代表取締役社長のスティーブン・モースはアジア・パシフィック プレジデント兼代表取締役会長に就任～

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社(本社:東京都中野区、代表取締役社長:スティーブン・モース)は、2022年5月2日付で、現副社長兼インターベンショナル・カーディオロジー事業部長の森川 智之が新代表取締役社長に就任することをお知らせいたします。

現代表取締役社長のスティーブン・モースは、同日付でボストン・サイエンティフィックのアジア・パシフィックのプレジデントならびにボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の代表取締役会長に就任いたします。

スティーブン・モースは、2019年7月にボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社代表取締役社長に就任して以来、成長を促進させるための事業構造の変革や革新的な製品導入、日本市場への浸透、人材開発に注力してまいりました。明確なビジョンを打ち出し、コロナ禍で変化する環境下においても、柔軟な対応と多様性を尊重し社内のエンゲージメントを高めながら企業としての成長を実現しました。ボストン・サイエンティフィックのアジア・パシフィックのプレジデントならびにボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の代表取締役会長に就任後は、新社長をサポートするとともに、アジア・パシフィックのプレジデントとして、医療機器業界の更なる発展のために尽力してまいります。

森川 智之は、長年医療機器業界において豊富な経験と実績を積んだのち、2019年4月にボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社に入社し、リズムマネジメント事業部長、インターベンショナル・カーディオロジー事業部長、ストラクチャーハート事業部長として、不整脈・心不全治療領域、心房細動領域、狭心症など循環器領域全般を統括してきました。強力なリーダーシップにより新たなビジネスモデルや新しいテクノロジーの浸透に尽力、スティーブン・モースと共に成長を推進し、2022年1月には全社のビジネスにおける責務を担う副社長に就任しました。代表取締役社長に就任後は、ビジネスの成長戦略を引き継ぎ、医療関係者の皆様とのパートナーシップをさらに促進し、日本の医療の発展に尽力していく所存です。

今後もボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社は、革新的で価値ある医療機器を日本国内に広く普及させ、患者さんの実りある人生のために医療の貢献に邁進してまいります。

以上

## 【略歴】 新代表取締役社長 森川 智之

- 2000年4月 日本シャーウッド株式会社(後の日本コヴィディエン株式会社)入社  
消化器、外科、麻酔科、透析、血管内治療、血栓予防等の営業、プロダクトマネージャを担当  
コヴィディエン ジャパン株式会社(現日本メドトロニック株式会社)にて、ポートフォリオマネジメント・マネージャ、ペリフェラル & リーナルデノベーションのマーケティングマネージャなどを歴任  
日本メドトロニック株式会社にて、末梢血管 & エンドビーナス事業部長に就任
- 2019年 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社入社  
同社、リズムマネジメント事業部長、インターベンショナル・カーディオロジー事業部長、ストラクチャー・ハート事業部長を経て
- 2022年1月 副社長 兼 インターベンショナル・カーディオロジー事業部長に就任 現在に至る



## 【略歴】 アジア・パシフィック 新プレジデント 兼 新代表取締役会長 スティーブン・モース

- 1998年 米国ガイダント・コーポレーション(現ポストン・サイエンティフィック コーポレーション)入社  
ポストン・サイエンティフィック コーポレーション リズムマネジメント事業部バイス・プレジデントを経て
- 2017年1月 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 リズムマネジメント事業部長 兼 AMEAリズムマネジメント事業部カウンシル・チェアマン就任
- 2017年10月 同社 カーディオバスキュラー & リズムマネジメント 統括事業部長に就任
- 2019年7月 代表取締役社長に就任 現在に至る



### <ポストン・サイエンティフィックについて>

ポストン・サイエンティフィックは、低侵襲治療(インターベンション)に特化した医療機器メーカーとして、1979年に米国で誕生しました。現在の取扱製品は17,000種以上であり、グローバルで約38,000名の従業員、13カ所の製造拠点を擁し、120カ国近くのマーケットで確固たる地位を誇る世界最大級の医療機器メーカーとして、医療テクノロジーをリードし続けています。

世界第2位の医療機器市場である日本においては、心血管疾患領域をはじめ、不整脈・心不全疾患領域、末梢血管疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、婦人科疾患領域、疼痛管理・パーキンソン病の治療領域で、患者さんの人生をより多いものにするに全力で取り組み、日本の医療に意義のあるイノベーションを起こしていきます。

企業サイト: <https://www.bostonscientific.jp>